

好ましくない表現	好ましい表現の例	理 由
少年	子ども、学生、高校生など、状況に応じて	「少年」は一般的用法では、女の子を含んでいない表現となる。
女性〇〇 女子〇〇 女流〇〇 女〇〇	冠詞としての「女性、女子、女流、女」はつけない。	社会で活動する人間は男性と考えられており、女性であることを強調することになる。
父兄	保護者	「父兄」は、児童等の保護者を男性に特定した言葉である。
ママさん〇〇	可能な限り「ママさん」は使用しない	子どもの有無によって仕事への責任や評価が変わるものではない。大人の女性がすべて既婚者で母親であるわけではない。
未亡人	死別した女性	夫が亡くなっても、夫が女性の存在を決めるという性差別語である。
老女	年齢・性別の情報が必要なときは「〇歳、女性」	年齢を重ねることで衰えたり、価値が下がったりすることをイメージさせる。男性を表す対となる言葉がない。
嫁	息子の妻	漢字の成り立ちから「家の女」となっており、「嫁」に行く、「嫁」をもらうなどかつての家父長制的家制度に基づいた考え方を表している。